

CENTENARY

2012. 7. 23
第 68 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成



玄関横に掲げられた
全国大会出場の懸垂幕

全国大会

壮行会

今年の夏は、本校から5つのクラブが全国大会へ出場します。

文武両道の校是のもと、日頃の汗や涙の結晶としてこの好成績があると思っております。みなさんもこの夏、新聞紙上などで加古西の名を見つけたら、どうぞエールを送ってください。

左は本校玄関横に掲げられた懸垂幕です。右から書道部・写真部・美術部・ボート部・陸上部の順で、全国大会出場を称えるために掲げられました。

7月20日の終業式の日、全国大会と近畿大会へ出場する各クラブの壮行会が行われました。全校生を前に、各クラブの生徒たちが顧問によって紹介された後、校長が激励の言葉を贈りました。そして各部の代表が一人ずつ、全校生に活躍を誓って挨拶しました。今年の全国大会は、新潟を中心とした北陸地方で行われます。夏休みに入るとすぐに各クラブ毎に北陸へと出発していきます。こんな経験ができるのも、

国大会出場を称えるために掲げられました。

7月20日の終業式の日、全国大会と近畿大会へ出場する各クラブの壮行会が行われました。

全校生を前に、各クラブの生徒たちが顧問によって紹介された後、校長が激励の言葉を贈りました。

そして各部の代表が一人ずつ、全校生に活躍を誓って挨拶しました。



ソフトテニス・陸上・書道・美術
写真の各部合同壮行会



ボート部壮行会（7月10日）

普段の努力があったからこそです。力のかぎり高校生としてきてください。特に今年は100周年の年にあたります。この記念の年に全国大会へ出場できることを誇りに思い、母校の榮譽のためにも頑張ってください。

10月20日の

創立100周年

記念式典

に向けて、歌唱練習も徐々にヒートアップしてきました。

式典では計4つの歌を生徒たちは歌います。

生徒の作詞作曲による100周年記念歌、創立当時の加古郡立高等女学校校歌、その後身の兵庫県立加古川高等女学校校歌、そして現在の校歌です。

終業式の後、体育館に生徒が歌う女学校の校歌が響き渡りました。まさに一瞬の清涼剤でした。

終業式の後、体育館に生徒が歌う女学校の校歌が響き渡りました。まさに一瞬の清涼剤でした。



記念式典に向けて歌唱練習

ちょっと一言 アメリカの経営学者、ピーター・ドラッカーは次のように言っています。

Company cultures are like country cultures. 企業文化は国の文化と似ている。

Never try to change one. 強引に変えようとしてはいけない。

Try, instead, to work with what you've got. 良いところに注目して、生かしていくべきだ。

先輩たちが築き上げた100年の歴史と伝統と文化をしっかりと守り、次の世代に引き継ぐことができるのが西高生です。心がこもった記念式典になることでしょう。今から楽しみです。